☆ 価値を生み出す、価値に気づく

人は大人になると働き始めますが、そもそも「仕事とは何」なのか、「働くとは何」なのでしょう？
仕事とは「何かを作り出したり、または、何かを成し遂げたりする行動」とでもいえるでしょうか。では、働くとは、自分の時間と能力を使って仕事をする事とでもいえるでしょう。

働いて仕事をして何かを生み出し、金銭的な対価を得られるようになれば職業として成り立ちます。
この金銭的な対価は、自己評価ではなく、他者評価で決まります。つまり、100円の価値があると他人に思ってもらえれば、100円のお金を出してもらえます。1万円価値があるとせば、1万円のお金を出してもらえます。

大人になり仕事をするとき、ひと月で100万円の収入を得たいと思えば、他人に100万円を払ってもよいと思わせる価値を生み出すことが必要です。

学校で学ぶことの意味の一つは、この他者評価での価値を生み出せるようになるように知識と知恵を学ぶことです。

皆さんには、この第一中学校での学びを通して、その知識と知恵を身につけてほしいと思っています。人によっては、高校・大学・大学院まで学ぶ人もいます。それでも「価値を生み出す」という基本原理から外れては収入を得られません。

将来のためにもしっかり学んでください。先生方はそのお手伝いの為におられます。

では、金銭的な対価が得られるものにしか価値は無いのでしょうか？

皆さんは「プライスレス」という言葉を聞いたことがありますか。「プライス(価値)」と「レス(否定の意)」が組み合わさって出来た言葉です。「プライスレス」は値段が付けられないほど貴重でかけがえのないもの、という意味で使われています。

形はなくても、思い出や体験、愛情や笑顔、優しさや忘れられない言葉などは、プライスレスな価値があると私は思います。

皆さんが取り組んでいるボランティア活動も、まさしくこのプライスレスな価値があると私は思います。

常に笑顔で友人に接し、周囲を笑顔にできる人は、それだけでプラスな価値を生み出しています。

私は皆さんに、第一中学校で学び、大人になるにしたがって、このプライスレスな価値に気づく人、プライスレスな価値をも生み出せる人にもなってほしいと思っています。

プライスレスな価値は、自分の心がけ一つで生み出せます。自分に何ができるかを考えてください。

そして、学校教育目標の「一中 大好き」は、どんな人を目指しているかも考えてみてください。もちろん、値段のつく価値も値段のつかない価値をも生み出す人になることを目指しています。

ここである先生方の行動を皆さんに紹介します。この1~2週間は非常に厳しい寒さで積雪の予報もあり、臨時休業や登校遅延の措置を取っています。ある先生は2時間遅延の登校措置を取った日、雪の予報が5時~8時になっていたため、その前であれば安全に通勤できるだろうと考え、朝4時には、第一中で勤務を始められています。また、ある先生は、積雪や道路凍結で通勤できないかもしれないと考え、近くのホテルに自費で宿泊して、歩いてでも通勤できるようにされた先生もおられます。

皆さんは、この二人の先生の行動をどのように感じるでしょうか。

私は、お二人の先生の行動から、仕事に対するプロフェッショナルな姿勢を感じ取ります。こういった姿勢は、日常の端々に現れ、生徒の皆さんに優れた職業人としての後ろ姿を見せていると感じています。私はこの先生方の行動を知り一段と「信頼」を寄せています。値段がつかない行為(先生方のこの行動で給料が上がったり、特別な手当が出たり、ということはありません)ですが、信頼というプライスレスな価値を生み出しています。このような「信頼」を得れば、どんな職場でもやっていけます。

皆さんには、先生方のこういった後ろ姿を見て気づいてほしいと思います。

ただ、私はすべての先生方にお二人のような行動を要求はしません。子育てや介護などで、そういった行動をしたくてもできない状況の先生方も多数おられます。私自身、朝7時30分に子どもを預けてからしか仕事にいけない時期も長期間ありましたし、介護も切実です。したくてもできない先生方の事情も身をもって知っています。そういった姿を見せながらも、仕事に誠実に向かう姿を見せることで、皆さんに仕事をするということ、働くということを後ろ姿で示すことができると思っています。良くも悪くも先生方の後ろ姿が、皆さんにプライスレスな価値も考えるきっかけになればと思っています。